

平成25年行政事業レビューシート

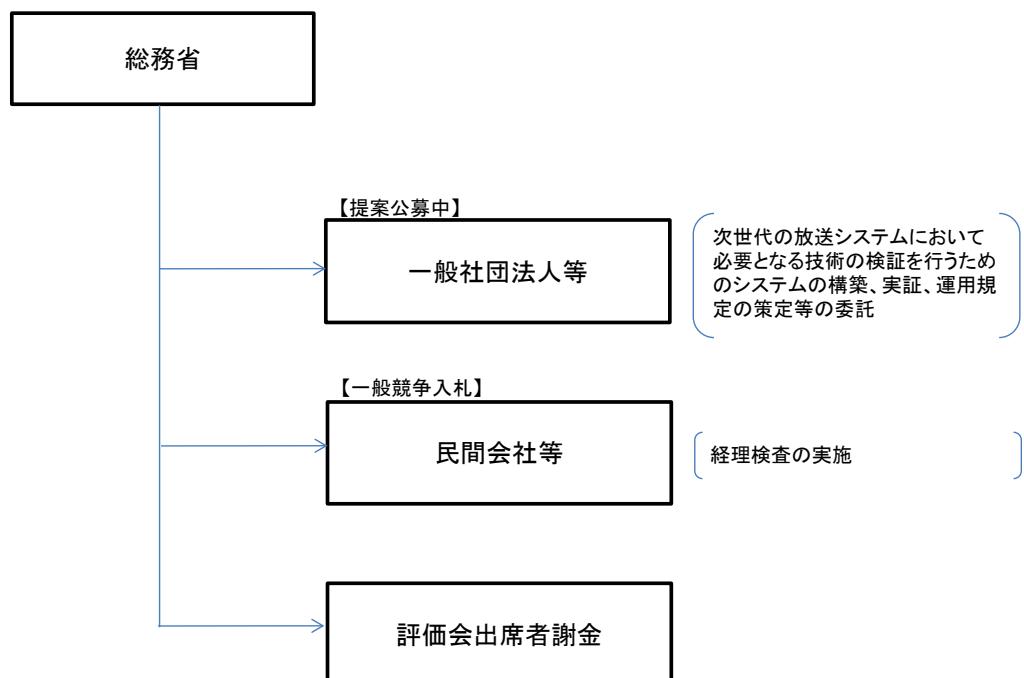
(総務省)

事業名	次世代衛星放送テストベッド事業		担当部局庁	情報流通常行政局		作成責任者	
事業開始・終了(予定)年度	平成24年度開始 平成25年度終了予定		担当課室	衛星・地域放送課		課長 鈴木 信也	
会計区分	一般会計		政策・施策名	V-2 情報通信技術高度利活用の推進			
根拠法令 (具体的な条項も記載)	総務省設置法第4条第66号		関係する計画、通知等	-			
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	放送の完全デジタル化等により急速な進展が見込まれる、4K・8K(スーパーハイビジョン)やスマートテレビ等の次世代放送サービスについて、効率的な圧縮・伝送技術などの実証を通じ、これらの技術に関する仕様等の策定を促進する。これにより、サービスの実用化を加速し、諸外国に先駆けて、サービスを実現。世界最先端のインフラと技術によって、世界の市場を牽引する。						
事業概要 (5行程度以内。別添可)	本事業においては、次世代放送に必要な圧縮(符号化)・伸長機能、多重化機能や制作システム等の仕様等を検討するとともに、技術検証を可能とする環境を整備する。また、これらの実証環境を活用し、4K・8Kやスマートテレビ等の放送に適した圧縮・伝送技術等に関する統合的な技術的検証を行い、運用規定等を策定する。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
予算額・ 執行額 (単位:百万円)		22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求	
	当初予算	—	—	0	0	0	
	補正予算	—	—	3,069	0		
	繰越し等	—	—	-3,069	3,069		
	計	—	—	0	3,069	0	
	執行額	—	—	0			
執行率(%)	—	—	—				
成果目標及び成 果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	22年度	23年度	24年度	目標値 (25年度)
	諸外国に先駆けて、4K・8Kやスマートテレビ等の次世代の放送サービスを実現。世界最先端のインフラを構築し、対応端末市場における国内需要を回復するとともに、グローバルシェア首位を実現。具体的な定量的指標を示すことは困難。	成果実績		—	—	—	—
	達成度	%	—	—	—	—	
活動指標及び活 動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込
	次世代衛星放送テストベッドを活用し、次世代放送に係る技術の実証等を実施し、仕様等の策定を促進することで、サービス実用化を加速化させる。	活動実績 (当初見込 み)		—	—	—	()
単位当たり コスト	—		算出根拠	—			
平成 25 ・ 26 年度 予 算 内 訳	費 目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由			
		0	0	平成24年度で事業終了(平成24年度予算を平成25年度に繰越)			
	計	0	0				

事業所管部局による点検					
国 必 要 投 入 性 の 本 質	項目		評価	評価に関する説明	
	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。		<input type="radio"/>	諸外国に先駆けて、4K・8Kやスマートテレビ等の次世代の放送サービスを実現。世界最先端のインフラを構築し、対応端末市場における国内需要を回復し、グローバル市場を牽引することを目的としており、優先度が高く、国による強力な支援が必要である。 委託先の選定に当たっては、一般公募ののち、外部評価委員会により選定する予定としており、競争性、妥当性を確保している。	
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		<input type="radio"/>		
事業 の 効率 性	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。		<input type="radio"/>		
	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		<input type="radio"/>		
	受益者との負担関係は妥当であるか。		-		
	単位当たりコストの水準は妥当か。		-		
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		-		
事業 性 の 有効	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		-		
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		-		
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		-		
重複 排除	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		-		
	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		-		
点検 結果	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名		
外部有識者の所見					
行政事業レビュー推進チームの所見					
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況					
備考					
関連する過去のレビューシートの事業番号					
平成22年	-	平成23年	-	平成24年	-

※平成24年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

○一般社団法人等に対する委託費については、平成25年3月公募を開始。5月中に外部評価を実施して、委託先を選定し、同年6月頃までに契約締結予定。



資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:百万円)

	A.			E.		
	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
	計		0	計		0
B.			F.			
	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
	計		0	計		0
C.			G.			
	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
	計		0	計		0
D.			H.			
	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
	計		0	計		0

費目・使途

(「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)

支出先上位10者リスト

A.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

B.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					